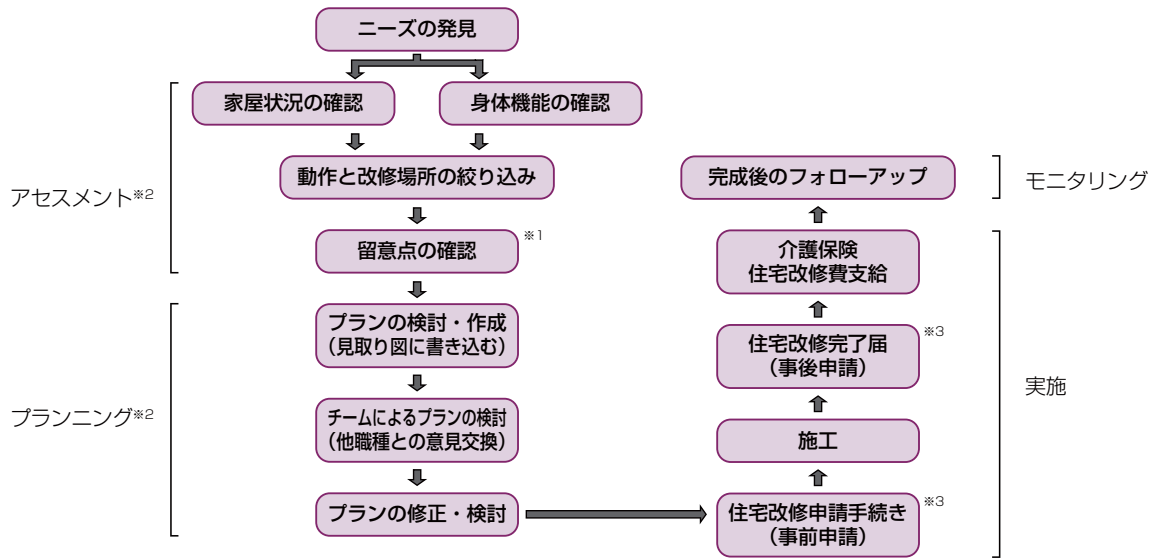


住宅改修の手順

住宅改修・福祉用具導入のプロセスは、ニーズの発見→アセスメント→プランニング→実施→モニタリングという一連の流れになります。

これを具体的なプロセスとして見ると、下図のようになります。

住宅改修の具体的なプロセス



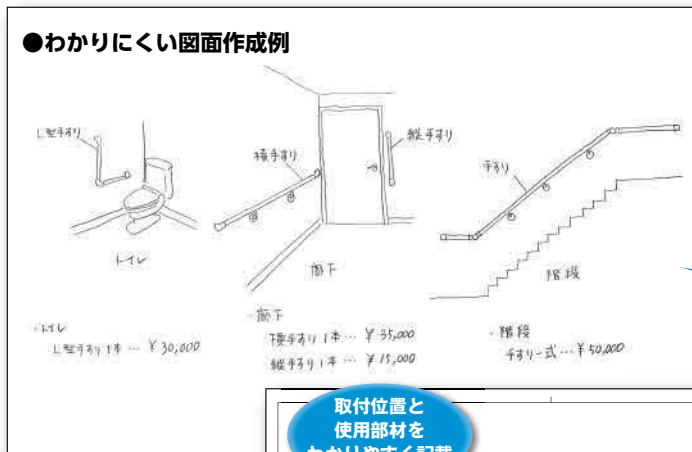
※1 8項目の留意点

- (1)福祉用具との適合
- (2)経済的な側面
- (3)家族の介護能力と生活
- (4)疾患による特性
- (5)身体機能の経時的変化
- (6)建物の条件
- (7)縁起ものへの配慮
- (8)キーパーソンの確認

※2 アセスメント、プランニングの間で住宅改修申請準備（住宅改修が必要な理由書）を行います。

※3 事前申請、事後申請は審査に時間がかかる場合があります。市町村の担当窓口にご確認の上、余裕を持って申請を行ってください。

施工計画書(図面)作成例



1本、1式などではなく、手すりのm数やブラケットの個数、メーカー品番までわかるように記載しましょう。

取付位置と使用部材をわかりやすく記載

見積書と見比べたときに、部材数量がわかりやすくなるように記載

利用者の生活動線をわかりやすく記載

品名	数量	単位	備考
上座手すり	1	本	
下座手すり	1	本	
縦手すり	1	本	
階段手すり一式	1	本	

品名	数量	単位	備考
上座手すり	1	本	
下座手すり	1	本	
縦手すり	1	本	
階段手すり一式	1	本	

施工計画書

施工内容

1/50 四天王寺建設株式会社

住宅改修申請手続きの中で「住宅改修が必要な理由書」及び「施工計画書(図面)」の作成が重要なウエイトを占めています。

■「住宅改修が必要な理由書」作成の流れ

理由書は、手順に従って作成しながら、住宅改修のプランを検討するために、収集すべき必要な情報が何か分かるように構成されています。
理由書作成にあたっては、住宅改修後の暮らし方を明確にすることから始まり、生活活動、動作レベルの具体的状況を把握し、最終的に改修項目や改修箇所を明確にしていきます。

住宅改修が必要な理由書

記入要領 P1

(基本情報)

被保険者番号	年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和	年	月	日	性別	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女
被保険者氏名	要介護認定 (該当に○)	要支援	要介護							
住所	1・2 1・2・3・4・5									

作成者
現地確認日 平成 年 月 日 作成日 平成 年 月 日
所属事業所
資格 (作成者が介護支援専門員でないとき)
氏名
連絡先

保険者
確認日 平成 年 月 日 評価
氏名

(総合的状況)

利用者の身体状況 P1-①
●立ち上がりやバランスの保持、移動といった生活動作に関する身体状況を記述する。
●屋内の移動方法(つかまらなくて歩ける・つたい歩き・介助歩行・つえや歩行器利用・車いす介助など)は必ず記述する。
●さらに、屋外に関連する改修をする場合は、屋外の移動方法も必ず記述する。

介護状況 P1-②
●各種介護サービスだけでなく、家族の介護も含めた介護状況を記述する。
●見守り程度の状況であっても、その内容を記述する。

住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか P1-③
●利用者や家族が住宅改修によって現在の暮らしをどのように変えたいのか、あるいは継続していきたいのかを、専門職の判断も踏まえた上で、総合的に記述する。
●これまでの生活歴を踏まえ、利用者はどのような社会参加をしていきたいのかを記述する。
●具体的な改修方針や改修項目は「P2」に記述する。

福祉用具の利用状況と
住宅改修後の想定
改修前 改修後

●車いす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●特殊	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●床す	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●体位変換器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●手すり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●スロープ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●歩行器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●歩行補助つえ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●認知症老人徘徊感知機器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●移動用リフト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●腰掛便座	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●特殊尿器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●入浴補助	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●簡易浴槽	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

●「その他」の欄には、住宅改修に関連した介護保険給付対象外の福祉用具を記入する。

記入要領 P2

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

活動	①改善をしようとしている生活動作	②①の具体的な困難な状況(～なので困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(～することによって改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)
排泄	●改善をしようとしている具体的な動作についてし点チェックをする。 ●今回改修の対象でない項目にし点チェックする必要はない。	●生活動作で困っていること、問題点について、現状の問題点を踏まえ、具体的に記述する。 本当は～したいのだが、実際には～しかできないので、～について困っているというように具体的に記述する。 ・「動作」のレベル(例えば、「立ち上がる」「歩く」「車いすを押す」「またたく」「段差昇降」「扉を開閉する」など)、それがどのように困難なのかを具体的に記述する。	●①②を記入し、現状の問題点を踏まえた上で、改修目的の項目をし点チェックする(あくまでも全体的に)。 <input type="checkbox"/> 動作の目的の達成 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	●様々な角度から検討し、決定された改修内容の項目(住宅改修の種類)をチェックし、内容を記述する。 ●改修箇所は、場所だけではなく「手すり」であれば、「便器横壁面」等その取付位置や寸法等も具体的に記述するとよいでしょう。 ●「その他」の欄には必要に応じて付帯工事を記述する。
入浴	●入浴・排泄・外出活動に関連して、浴室・トイレ・玄関までの移動については各活動の欄にし点チェックする。 (ただし、この場合、移動について各活動(排泄・入浴・外出・その他)に共通する内容は、②において、例えば「排泄」の欄のみで記述し、各活動の欄に重複して記述する必要はない。)	生活のどの場面、どの動作が利用者・介助者にとって大変なのか、動作の流れに沿って一つずつ見極めること。寝たきりならば「座席が保てるか」、歩行ができれば「段差を越えられるか」などについても確認する。 ①のし点チェックと②のコメントの両方を含ませて利用者の状況が伝わるようにする。	<input type="checkbox"/> できないことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	●引き戸等への扉の取替え () ●便器の取替え () ●滑り防止等のための床材の変更 () ●その他 ()
外出			<input type="checkbox"/> できないことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	
その他の活動	●「その他の活動」の欄には「排泄」「入浴」「外出」以外の生活動作を記述する。 (例えば「調理・台所までの移動」や「洗濯・洗濯機からの洗濯物の取り出し」など)		<input type="checkbox"/> できないことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	
	P2-①	P2-②	P2-③-1	P2-③-2
				P2-④

「住宅改修が必要な理由書」の特徴

■特徴1
生活改善の目標設定から住宅改修の方針決定までには段階があり、その段階をおって作成できる。

■特徴2
生活活動ごとの個々の生活動作に着目することで、幅広く生活全般をチェックすることができ、困難な生活動作の改善のための方針にそって、改修項目を具体化することができる。

■特徴3
住宅改修の目的を明確にすることができ、その目的を達成できたかの評価を改修後に行うことができる。

ホームページから
住宅改修マニュアルをダウンロードできます。
<http://www.firstreform.com>



- バリアフリー
- 金物
- 補修・接着・テープ
- 水まわり
- 防犯
- 耐震・防災
- 収納・内装
- ペット用品
- 建築資材
- 道具・工具
- お役立ちコーナー
- 豆知識
- ご利用方法